

【Q & A】

問1 なぜ、今回申し込み方法を変更したのか。

(答)

これまでの先着順では、ただちに施術管理者にならない方も応募していることから、研修が受けられないとの声がありました。

このため、一旦申し込みを受け付けた後に優先度が高い方を選定して受講者を決定し、通知する仕組みに改めたものです。

問2 優先度はどのようになっているのか。

(答)

現時点では以下の順で優先度を設定しています(今後、申し込み状況を見ながら優先度を変更する可能性もあります。)

施術管理者研修導入時の特例対象者として、研修修了証の写しを後日提出する旨の確約書を地方厚生(支)局へ提出し、受領委任の取扱いの登録または承諾をされている方。または新型コロナウイルス感染症の関係で令和2年3月実施、4月実施、5月実施及び6月実施の研修が中止となったため、受講ができず、受領委任の取扱いの届け出又は申し出をしていない方。

新型コロナウイルス感染症の関係で令和2年3月実施、4月実施、5月実施及び6月実施の研修が中止となったため、受講ができず、中止の連絡以後に受領委任の取扱いの届け出又は申し出をしていない場合は、特に書類は不要。

募集定員の関係から、原則として以下で申し込みください。

令和2年3月実施及び4月実施の受講予定(沖縄を除く)

10月から12月実施

令和2年5月実施及び6月実施の受講予定(北海道を除く)

1月から3月実施

施術所において受領委任の取扱いはまだ行っていないが、既に保健所に施術所開設届を提出している（例 施術管理者が自己都合で退職したために、施術所において柔道整復療養費の受領委任が取り扱えなくなったため施術管理者が必要となった）。

既に開業準備を行っている方

近日中（6ヶ月以内）に施術管理者が退職する（妊娠により受領委任の取扱いを辞退する等）ことから施術管理者がいなくなることが確定しているため、同じ施術所の勤務する柔道整復師等が新たに施術管理者となる予定の方。または高齢等の事情から受領委任の取扱いを辞退する予定の親から事業承継を受ける同じ施術所の勤務する柔道整復師である子である方

それ以外の方

さらに、上記の 、 、 、 においては、既に柔道整復師として1年以上の実務経験期間を有するか否かで優先度を設定しています。

問3 どのように受講者を決定するのか。

（答）

問2の答の優先度 において、開設年月日等の日付順を元に、各会場の受講者を決定させていただきます。

問2の答の優先度 において、不動産の売買契約締結年月日等の日付順を元に、各会場の受講者を決定させていただきます。

問2の答の優先度 において、施術管理者がいなくなる年月日等の日付順を元に、各会場の受講者を決定させていただきます。

問2の答の優先度 において、コンピューターシステムによる抽選により、各会場の受講者を決定させていただきます。

なお、今回で受講が決定されなかった場合には、次回で再度の申し込みをしていただく必要があります。

第一希望から第三希望の受講会場が定員のため、受講者として決定されなかった場合、次回での再度の申し込みをしていただく必要があります。

問4 申し込み結果については、どのようにお知らせされるのか。

(答)

予約申し込みをしていただく折りに、マイページをご用意させていただきます。
結果については、マイページでご確認いただくこととなります。

【個別のケース】

問5 施術管理者が自己都合で退職したため、施術所では自費診療で対応している
ので、今回の申し込みについては、どこに該当するのか。

(答)

既に施術管理者がいないため、早急に施術管理者研修を受講する必要があることから、
優先度 で申し込みして頂くこととなります。

【必要な書類の写し】

- ・ 開設者又は法人の代表者が申し込む場合

施術所開設届

- ・ 現在の施術所で業務に従事する施術者が申し込む場合

施術管理者が自己都合で退職したことが確認出来る書類(例 開設届事項一部変更届及び離職証明書)及び施術所開設届

- ・ その施術所に新たに勤務する者が申し込む場合

施術管理者が自己都合で退職したことが確認出来る書類(例 開設届事項一部変更届及び離職証明書)及び新たに雇用する者の雇用関係が分かる書類

問6 施術管理者が退職予定であるので、今回の申し込みについては、どこに該当するのか。

(答)

優先度 で申し込みして頂くこととなります。

【必要な書類の写し】

・近日で施術管理者が退職する（妊娠により受領委任の取扱いを辞退する等）ことが確定しているため、同じ施術所の勤務する柔道整復師が新たに施術管理者になる場合
退職者の退職届（任意様式。妊娠の場合、母子手帳の写し 妊娠が分かる箇所のみ）、施術所開設届、開設者又は法人代表者の申立書（開設者又は法人代表者の署名及び捺印）

・近日で施術管理者が退職する（妊娠により受領委任の取扱いを辞退する等）ことが確定しているため、他の施術所から後任者を配置する場合

退職者の退職届（任意様式。妊娠の場合、母子手帳の写し 妊娠が分かる箇所のみ）、施術所開設届、後任者との雇用契約書、開設者又は法人代表者の申立書（開設者又は法人代表者の署名及び捺印）

（注1）退職者の退職届に関しては、任意の様式でかまいません。

開設者又は法人代表者あて「いつ退職する」及び「届け出年月日」をご記入し、署名及び捺印した上で開設者又は代表者あてに届け出したものを添付願います。

（注2）開設者又は法人代表者の申立書（開設者又は法人代表者の署名及び捺印）に関しては、任意の様式でかまいません。

退職者の退職届を受付した旨を記載の上署名及び捺印願います。

問7 施術管理者が高齢等の事情から、同じ施術所に勤務する柔道整復師である子に今後承継することを予定している。今回の申し込みについては、どこに該当するのか。

(答) 追記したため、赤字で表示いたします。

優先度 で申し込みして頂くこととなります。

【高齢等の事情から、親から同じ施術所の勤務する柔道整復師である子が事情承継する場合】

・施術所開設届の写し、施術管理者が高齢等であるため引き継ぐ旨の申立書の写し
(開設者又は法人代表者の署名及び捺印)

(注1) 施術管理者が高齢等であるため引き継ぐ旨の申立書(開設者又は法人代表者の署名及び捺印)に関しては、任意の様式でかまいません。

施術管理者が「高齢等の事情から同じ施術所に勤務する柔道整復師である子に承継する予定である」旨を記載の上、署名及び捺印願います。

問8 不動産売買契約をしていないと、優先度 で、今回の申し込みができないのか。

(答)

準備いただく書類として、開業準備が分かる書類が必要であるため(必ずしも不動産売買契約をしていなくとも差し支えない)、不動産売買契約書の写し、不動産賃貸契約書の写し、構造設備や施術に用いる器具及び手指などの消毒設備の領収書の写しなど開業準備が分かる書類がいずれかひとつでもあれば、優先度 で申し込むことができます。

なお、複数の方が、同一の不動産売買契約書の写し等を流用するようなことは不可とさせていただきます。

さらに、申込期間中に不動産売買契約又は不動産賃貸契約の準備をしているが、申込期間後(約1カ月後めど)に不動産売買契約及び不動産賃貸契約を締結する予定の方は、準備中であるという事実関係が分かる書類(購入又は入居申込をしている事実等が分かる書類の写し)でご登録願います。

問9 実務経験期間証明書（平成 30 年 1 月 16 日付保発 0116 第 2 号別紙様式 1）を示してもらいたい。

（答）

以下のリンク先で確認できます。また、事務連絡及び記入例を以下に参考として掲載いたします。

【厚生労働省のホームページ】

実務経験期間証明書

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/iryouhoken/iryouhoken13/dl/171227-02-01.pdf>

よくある質問につき、以下の（参考）をご確認願います。

(参考1) 平成30年5月24日付厚生労働省医療課事務連絡 抜粋

【証明関係】

(問5)

以前に務めていた施術所で自身が施術管理者であった実務経験の期間は、誰が証明するのか。

(答)

自身が施術管理者であった登録施術所が現存している場合は、現在の開設者又は施術管理者が証明することとなり、登録施術所が廃止となっている場合は、開設者であった者又は自分自身となる。

なお、いずれの場合であっても、当該施術所での雇用契約の期間を確認したうえで、証明することとなる。

(問6)

勤務していた施術所が閉鎖され、管理者(開設者及び施術管理者)の実務経験期間証明書の交付を受けられない場合の証明はどうなるのか。

・実務経験の証明は、公的機関等の発行する書類が必要となるのか。

(答)

実務経験証明書は、受領委任を取扱う施術所における雇用契約期間について、施術所の管理者(開設者又は施術管理者)が証明する。

登録施術所の廃止などにより、管理者(開設者又は施術管理者)の実務経験期間の証明が不可能な場合、「氏名、生年月日、従事期間」欄を記入した実務経験期間証明書に加え、公的機関が発行する書類(例えば、雇用保険における離職票)や当該施術所からの給与の支払が確認できる書類など、第三者による雇用契約関係の事実を証明する書類の添付が必要である。

【実務経験関係】

(問11)

勤務柔道整復師として登録されていたが、正式雇用ではない場合の取扱いについて施術所でのアルバイト期間でもいいのか。

(答)

登録施術所の管理者（開設者又は施術管理者）が雇用契約期間を確認したうえで「実務経験期間証明書」に証明するものであり、証明において雇用形態（常勤、非常勤、パート、アルバイト）や勤務時間は問わない。

なお、雇用契約内容が、他の常勤の勤務柔道整復師の勤務時間の3分の2未満であるなど、いわゆる短時間労働者であった場合でも雇用契約期間として認められるものであれば実務経験期間証明書の作成は可能である。

【平成30年5月24日付厚生労働省医療課事務連絡】

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/iryouhoken/iryouhoken13/dl/180524-03->

[01.pdf](#)

(参考2) 施術管理者研修の申込時に添付いただく場合の記入例
別紙様式1

実務経験期間証明書

次の者は当施設において、柔道整復の施術に従事したことを証明します。

氏名	太郎
生年月日	昭和 平成 元年 11 月 22 日
従事期間	昭和 平成 令和 31 年 4 月 1 日 ~ 昭和 平成 令和 2 年 8 月 31 日

証明年月

令和2年9月1日

証明年月日の前日以前の年月日をご記入願います。

管理者とは、開設者又は施術管理者をいいます。

施術所が現存する場合、現在の開設者又は施術管理者が証明します。

施術所が廃止となっている場合、開設者又は施術管理者であった者が証明します。

上記に該当する場合、自分自身が証明可能です。

施設名

登録記号番号が記入されている様式を活用していただいてもかまいません。

所在地 県 市

管理者職名 開設者 OR 施術管理者
及び氏名

- (注) 1. 柔道整復師としての実務経験期間を記載すること。
2. 虚偽の証明を行ったときは、受領委任の取扱いの中止又は中止相当となります。

(注意) 今回添付いただく実務経験期間証明書は、あくまで施術管理者研修の予約申込に添付いただく書類です。

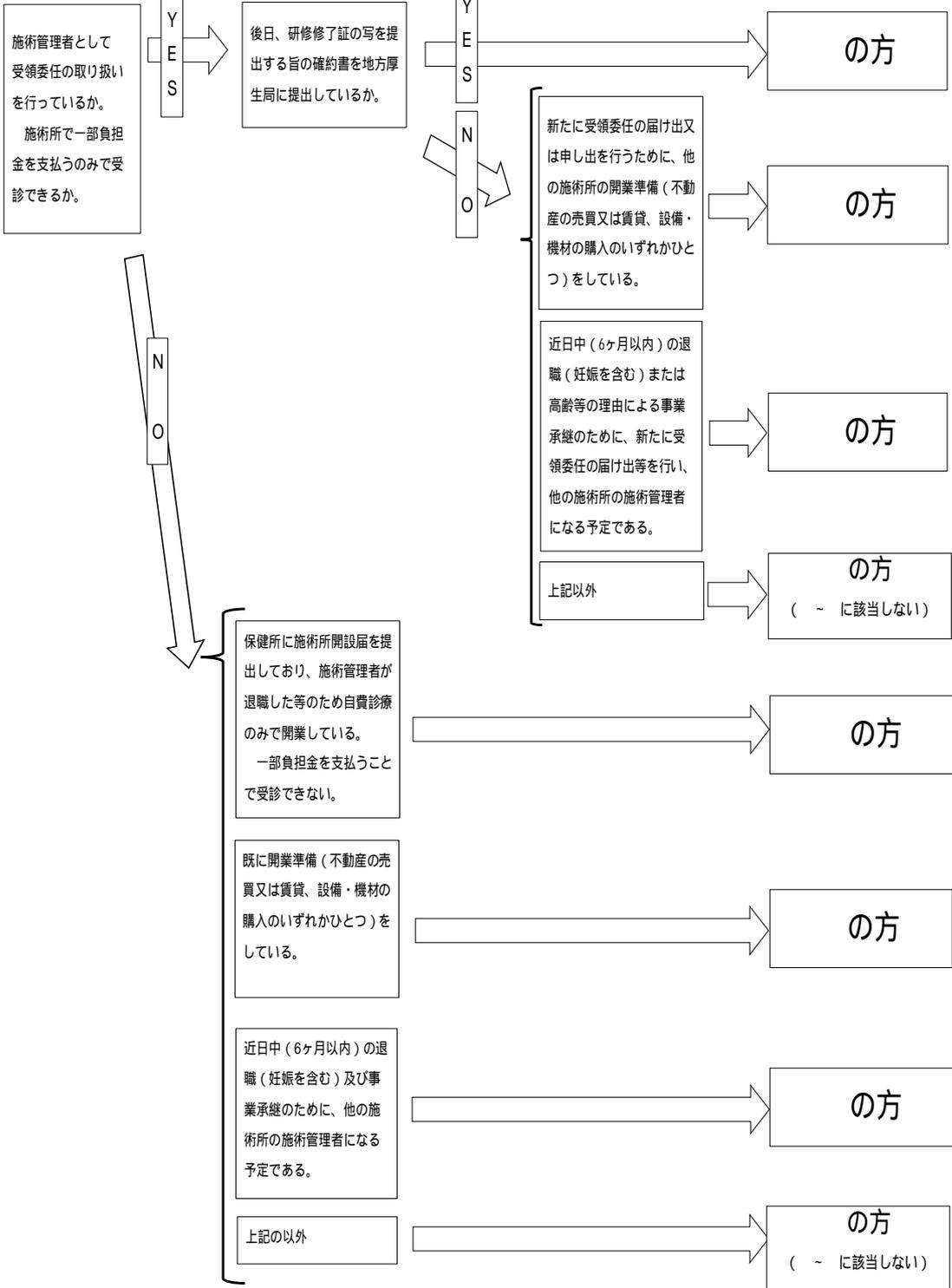
問10 ホームページに掲載されている『「施術管理者研修」の申し込み方法 変更のお知らせ』を確認したが、優先度が高い方につき該当するか分からない。

(答)

以下の(参考2)でご確認の上、申し込み願います。

(参考2) 予約の申し込みをされる方について

【問1】



さらに、上記の 、 、 、 においては、既に柔道整復師として1年以上の実務経験期間を有するか否かで優先度を設定しています。

エントリーフォームにおける現在の状況入力に関する設問及び決定の優先度につき、
Q & A 以外でご質問があれば、厚生労働省保険局医療課にお問い合わせください。

TEL : 03-5253-1111 (内 3276)

入力方法の問い合わせは公益財団法人柔道研修試験財団(当ホームページ記載連絡先)にお問い合わせください。